

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学循環器内科に急性冠症候群で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性冠症候群発症における Toll 様受容体 9 (TLR9) 内因性リガンドの役割の解明

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学循環器内科学講座 教授 赤坂 隆史

3. 研究の目的

急性冠症候群における OCT 画像での冠動脈の責任病変形態を調査し、血中のサイトカイン・ケモカイン、血小板活性との関連を検討する。サイトカイン・ケモカインや血小板活性が、責任病変形態に関連した因子かどうかを明らかにするために研究を行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

急性冠症候群の患者さんで、平成 28 年 1 月 15 日から平成 29 年 3 月 31 日までの期間中に、急性冠症候群と診断され経皮的冠動脈形成術を受けた方で、以前本学で行った研究である「炎症性サイトカインと急性冠症候群の責任形態との関係についての検討」にご参加いただいた方を対象とします。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの年齢、冠危険因子の既往の有無(高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙歴、家族歴など)、(先の研究の際に提供頂いた)血液検体中のサイトカイン・ケモカインや血小板活性の分子量、光干渉断層法(OCT)画像(病変形態)などに関する情報です。

(3) 方法

急性冠症候群における OCT 画像での冠動脈の責任病変形態を調査し、血中のサイトカイン・ケモカイン、血小板活性、Toll 様受容体 9 (TLR9) 内因性リガンドとの関連について比較検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科講座 担当医師 樽谷 玲

TEL : 073-441-0621 FAX : 073-446-0631 E-mail : taruy@wakayama-med. ac. jp